

~~~~~  
**学会だより**  
 ~~~~~

~~~~~  
**掲 示 板**  
 ~~~~~

**山田科学振興財団 54年度研究援助申請の募集について**

この度、昭和54年度分として、次の四件の研究援助申請の公募が行われる旨連絡がありましたのでお知らせ致します：

1. 学術交流集会援助

申請受付期間 昭和54年4月1日～昭和54年5月31日の2ヶ月間

2. 招へい・受け入れ援助

申請受付期間 昭和53年12月1日～昭和54年1月31日の2ヶ月間  
 (昭和54年6月1日～昭和53年3月31日に招へい予定の方)

3. 派遣援助

イ. 短期間派遣

申請期限 出発予定日より4ヶ月以前の月の15日(例：5月に出発予定のときは1月15日が締切り期日にあたる)

ロ. 長期間派遣

申請期限 昭和53年12月1日～昭和54年1月31日の2ヶ月間(昭和54年6月1日～昭和53年3月31日に出発予定の方)

なお、上記援助申請要領は参考として1部ずつ学会宛に届いておりますが、申請要領と申請書様式は改定されております。詳しくは、

〒544 大阪市生野区巽西1丁目8番1号

ロート製薬(株)内 財団法人山田科学振興財団  
 (Yamada Science Foundation)

電話 大阪(06)758-1231 ロート製薬株式会社呼出に御紹介下さい。

~~~~~  
**編 集 部 よ り**  
 ~~~~~

本誌掲載の記事、写真に関しましては、会員諸氏の絶えざる御支援により、毎号を充実した記事で満たすことができ深く感謝しております。今後とも一層充実した誌面にするため、さらに広く会員諸氏による記事を掲載したいと思います。つきましては、各分野におけるニュース、短い解説などを**雑報**として御投稿下さるようお願いいたします。編集は**毎月10日**を目途に締切り、掲載については編集係に御一任下さい。会員諸氏の御協力によりニュース性の高い雑報欄に成長させたいと思います。

**第16回宇宙線国際会議についてのお知らせ**

1979年8月京都において、標記の会議が開催されることとなりました。この国際会議はIUPAPのCommission on Cosmic Raysが隔年に開催しているもので、日本でも1961年に第7回の会議が「地球嵐シンポジウム」と共催で開かれた事は御存じの方も多しと存じます。

今回の国際会議では宇宙物理から素粒子物理までを含む幅広い研究分野をカバーし、国外から約400名、国内から約250名の参加者が予定されています。会議の開催要綱は下記の通りでありますので出席御希望の方並びに御関心をお持ちの方は国際会議事務局まで御連絡頂ければ幸いです。

**会議開催要綱**

主 催 日本学術会議 日本物理学会

ホスト機関 東京大学宇宙線研究所

日 時 1979年8月6日(月)～8月18日(土)

場 所 京都市南区京都市駅八条口  
 新・都ホテル(予定)

形 式 招待講演、分科会、総括講演

分科会題目 OG: 宇宙線の起源並びに高エネルギー天文学

SP: 太陽及び太陽圏内で発生する放射線

MG: 宇宙線強度の時間的空間的变化

MN: ミュー中間子及びニュートリノ物理

HE: 10 TeV 以上の超高エネルギー現象

EA: 空気シャワー現象

T : 測定技術

参 加 者 参加には原則としてコミッション議長の招待によりますが、国内の参加者については日本のコミッション・メンバーの推薦によって招待状が送られます。

登 録 料 登録料は1人20,000円で会場受付で納入して頂き論文前刷(Conference Paper)9巻が手渡されます(会期後更に3巻が刊行され送付致します)。

そ の 他 1st Circular は1978年11月中に、2nd Circular は1979年2月始に発送されます。一般講演申込締切りは3月15日で国際プログラム委員会及び国内組織委員会がプログラムを決定します。

事 務 局 〒188 田無市緑町 3-2-1

東京大学宇宙線研究所 鎌田 甲 一

電話 0424-61-4131